

毎週日曜発行
2025 5/18

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

ニュース



仙台市青葉区のHOKUSHU (ほくしゅう)

仙台市科学館の3階展示室が4月に新しくなりました。昨年春にリニューアルした4階展示室と合わせ、1990年に開館して以来、初めての大きな改装工事だったんだ。何がどんな風に変わ

仙台市科学館リニューアル



子どもに人気の地下鉄運転シミュレーター
4月22日、仙台市青葉区のHOKUSHU仙台市科学館

触れて試して体験重視

ったのか、科学館を訪ねて調べてきたよ。

(8面に関連記事)

「出発しまーす！」

4月下旬、3階展示室にある列車の運転体験コーナーで、車掌になりきった親子のにぎやかな声が響きました。

親子が楽しんでいたのは、新しく導入された仙台市地下鉄の運転シミュレーターです。地下鉄南北線の台原―旭ヶ丘駅間の運転を体験でき、駅に到着したら自分でブレーキレバーを操作して列車を止められます。



科学館の広報を担当する丹野一輝さん(37)は「列車から撮影した実際の景色が画面に映るので、リアルな運転体験を味わえます。休日は行列ができるほど人気です」と説明します。

広さ約1800平方メートルの3階展示室は、改修工事によってカラフルで近未来的な空間に生まれ変わりました。コンセプト

は「生活と科学―ワンダーサイエンスルーム(不思議な実験室)」。暮らしの中にある身近な科学に焦点を当てています。

室内は「自然と災害」「自分のふしぎ」など七つのゾーンに分かれ、「触れる」「試す」といった体験重視の展示が配置されています。



丹野さんによると、大人の背丈ほどの高さになる円柱状のシャボン玉に入れる装置や、地震の揺れを体験できる地震体験シアター「グラリくん」が来館者に好評です。手の動きに連動して骨や血管、筋肉の動きを画面で観察できるコーナーも人気を集めています。

丹野さんは「ゾーン分けて改装前よりもフロア全体がすっきりし、わくわくする展示になりました。子どもも大人もそれぞれの楽しみ方で科学に触れてほしいです」と話します。

この日 何の日

◇18日(日) 仙台・青葉まつり本まつり
時代絵巻巡行、すずめ踊りなどが杜の都を彩ります。江戸時代の「仙台祭」が起源で、中止期間もありましたが、伊達政宗没後350年に当たる1985年に復活。今年で41回目を迎えました。

ページの紙面

- 2面 やさしいにほんごニュース
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 キホンがわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 仙台市科学館リニューアル

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ